

世代超えて楽しめる日曜日

7月からの
新紙面

気になる
たのしみ
迫る
つながる



Sunday

平日とは違うひとときを

新しい日曜紙面の象徴として、題字を変更します。現在の毎日新聞のブルーの題字は1991年11月、読者本位のわかりやすい新聞への生まれ変わりを目指して決めました。それから30年。時代を読み取る「毎日の目」のシンボルはそのままに、さらなる変革を続ける決意として、日曜日のみ新たな題字でお届けします。「Sunday（日曜日）」の文字は、記者が余白に走り書きする姿をイメージしました。少しカジュアルに、平日とは違うひとときを読者のみなさまに感じていただけたらとの願いを込めました。

現場へ背景へ

1面から3面に続く「迫る」は、人物の内面や生きざまを描いたり、出来事の原因を掘り下げたり、通常のニュース記事とは違ったスタイルでじっくり読んでいただける読みものです。

一線が活躍する人だけでなく、かつてメディアをにぎわせた人のその後も取り上げます。

また、記者が現場を歩いてそこから見えてくる社会の矛盾や課題を考えるルポ、報じられたニュースの背景を探る記事、埋もれた事実を掘り起こす調査報道など、記者の視点や問題意識を明確にした記事を展開します。

月1回、日曜に掲載している「ストーリー」と、対談「池上彰のこれ聞いていいですか?」「迫る」シリーズとしてこれまで通り継続します。

迫る

わたしのふるさと便

教えて「県民あるある」

- 千葉県 (6月20日必着)
- 高知県 (6月27日必着)
- 福岡県 (7月4日必着)

また、ふるさとへの思いやふるさと自慢をテーマにしたコーナー「県民あるある」では投稿を募集します。その県があることではない人も、旅行や出張、赴任した時の思い出をお寄せください。

掲載は7月4日が千葉県(締め切り6月20日)、7月11日が高知県(同6月27日)、7月18日が福岡県(同7月4日)です。400字程度、県名、住所、氏名、年齢、職業(元職も可)、電話番号(携帯番号も)を明記し、郵便は〒100-8051(住所不要)毎日新聞地方部「わたしのふるさと便」係、メール t.chihoubu@mainichi.co.jp。

匿名・二重投稿はご遠慮ください。掲載分の著作権は毎日新聞社に帰属します。ただし、投稿者本人の利用は妨げません。毎日新聞の電子媒体にも掲載されます。

自慢、思い出を募集

全国47都道府県の観光の穴場や特産品を紹介する「わたしのふるさと便」が始まります。地元の人「イチオシ」の観光スポット、地元で人気の食べ物……全国的にはあまり知られていない地元ネタを、各都道府県の観光大使や、現地で勤務する毎日新聞の支局長がお伝えします。

47都道府県の魅力

みんなの広場 日曜版

初回(6月25日必着)
コロナ禍の明かり
次回(7月2日必着)
かかりつけ医

読者、記者双方向で

2面の「みんなの広場日曜版」は毎回テーマを設定して投稿を募集し、読者、記者の双方向で作るコーナーです。7月4日のテーマは「コロナ禍の明かり」(6月25日必着)。つらい状況の中で心に響いた思いやりや言葉、心がけていることはなんでしょう。7月11日はワクチン接種でも頼りにされる「かかりつけ医」(2日必着)。望むことや思い出は、みなさまの投稿をお待ちしています。

本文400字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号(携帯も)を明記し〒530-8251(住所不要)毎日新聞「みんなの広場日曜版」係へ。ファクスは06-634468228。毎日新聞デジタルの投稿フォームからも受け付けています。また、左記QRコードからも投稿できます。原稿は添削することがあり、電子媒体にも掲載します。掲載分には図書カードを進呈します。

7月から連日掲載

冒頭の「幕間」、本来の読み方は「まくあい」ですが、連載では皆さんがどの読み方を選んだか、アンケートの結果を紹介します。

日本語の豆知識

芝居の休憩時間である「幕間」。どう読みますか?

記事の内容や言葉遣いを日々チェックしている校閲記者が、よく見るけれども適切とはいえない表現や、使われ方が揺れている注釈したい言葉のほか、季節や時事にちなみ面白い深い日本語などを、1面とそれを受けたどこかの面で毎日取り上げます。



クロスワード 日曜にお引っ越し

クロスワード解答の応募はがきには、さまざまな感想が添えられています。「ステイホーム期間。数独も頑張っています。孫は間違い探しの最後の一つを発見しました。3世代で楽しんでいます」と兵庫県清水弥寿恵さん(79)。「多彩なパズルを同時掲載して」との声もあります。土曜日の「クロスワード」を日曜日に変更し、読者の声も掲載予定です。数独などの「あれこれパズル」、間違い探しなどの「脳を鍛えたい」と一緒に満喫ください。



羽生善治九段

from 小学生

子どもも大人も一緒に楽しめる「毎日小学生新聞」(北海道では「北海道小学生新聞」)から、よりすぐりの人気コーナーをお届けします。池上彰さんが時事問題を読み解く「教えて!池上さん」▽ものづくりの技を伝える「江戸東」▽見本帳▽身の回りの不思議を一気に解消する「疑問水鏡」▽哲学者とじっくり考える「てつがくカフェ」。羽生善治九段が出題する詰め将棋問題「将棋名人への道」も毎週登場します(第5週を除く)。

子どもも大人も